

解のない課題に挑み、価値を創造できる人材が未来を啓く



有信 睦弘 学長

ありのぶ・むつひろ／東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了。(株)東芝、東京大学執行役・副学長などを経て、2021年4月より現職。

本学は2021年4月、広島に開学した県立大学です。先行き不透明で混沌化する社会経済情勢のなか、自分の目で物事を見て、全体像をしっかりと把握する力、過去の成功体験に依存した発想ではなく、新たな価値を創造していく力が増々求められています。



15階建てビルの都市型キャンパス

本学は、自らが課題を発見し、解決策を導き出し、新たな価値を創出して、社会をより良く変容させることのできる人材の育成を理念に掲げています。これを実現していくためには「先見性」を持って本質的な課題を発見し、「戦略性」をもって解決策を立案した上で、自らリーダーとしてやり抜く「実行力」が求められます。また、このプロセスを進めるには高い志を持ち、学び続ける「自己研鑽力」と、多様性を尊重し協働する「グローバル・コラボレーション力」が必要となります。

カリキュラムはこれら5つのコンピテンシー(資質・能力)を修得するために編成されています。2023年4月に1期生が3年生となり、キャリアデザインオフィスを開設しました。学生が在学中、卒業後もキャリアや働き方を考えられるよう支援します。教職員だけでなく学生も参加して大学の将来ビジョンについての議論を行なっているのも本学の特徴です。

解のない社会課題に対して果敢に挑み、新たな未来を紡ぎ出していける頼もしい学生たちが巣立っていきけるよう、これからも努めてまいります。